
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年8月26日号

©2009年7月における中国の大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年7月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内大豆価格は安定

2009年7月の東北地区大豆油の買上価格は、1トン当たり3,557円で前月並み、前年同月比32.1%安、山東省の国産大豆の工場買上価格は同3,725円で前月並み、前年同月比30.8%安となった。

また、国際大豆価格下落により、国内大豆油用及び大豆粕価格は下落し、山東省における四級大豆油の工場出荷価格は、同6,547円で前月比9.3%安、前年同月比40.0%安、中等大豆粕の工場出荷価格は3,316円で、前月比2.5%安、前年同月比27.8%安となった。

2 国際大豆・大豆製品価格は下落

7月は、米国の大豆生産増加見込みを受け、国際大豆価格の下げ幅は比較的大きかった。

米国シカゴ先物取引所（CBOТ）の大豆価格は1トン当たり350.0ドル、前月比13.2%安、前年同月比36.2%安となった。大豆油は同764ドル、前月比9.0%安、前年同月比45.0%安、大豆粕は同331.3ドル、前月比14.3%安、前年同月比23.9%安となった。

3 輸入大豆価格（通関後価格）は国産大豆価格を若干下回った

国際価格下落により7月の輸入大豆通関後価格は再び国内価格を下回った。山東省輸入大豆の通関後価格は1トン当たり3,708元と山東省国産大豆価格を若干下回り、メキシコ湾で

のFOB価格では同443ドル（3,014元）と、山東省国産大豆買上価格を同711元下回った。

4 上半期の大豆輸入量は引き続き増加

海関統計によれば、6月の大豆輸入量は471万トンと前月比33.7%増、前年同月比31.5%増と史上最高となった。

2009年1～6月累計では、大豆輸入量が前年同期比28.2%増の2,209万トンで、主要輸入先国である米国が54.4%、ブラジルが33.0%、アルゼンチンが11.2%を占めた。また、大豆油の輸入量では、同25.5%減の96.9万トンで、主要輸入先国であるアルゼンチンが78.6%、ブラジルが15.9%を占め、大豆粕輸入量では同30.4%増の10.1万トンとなった。

5 2009/10年度世界大豆生産量は増加

FAOの6月の予測では、南米における大豆大幅減産により、2008/09年度の世界大豆生産量は2.12億トンと、当初予測された対前年1,740万トン増産が800万トン減産（3.64%減）となったことから、世界的な大豆供給がタイトになった。この価格上昇を受け、2009/10年度の世界大豆生産量が増加することは明らかである。